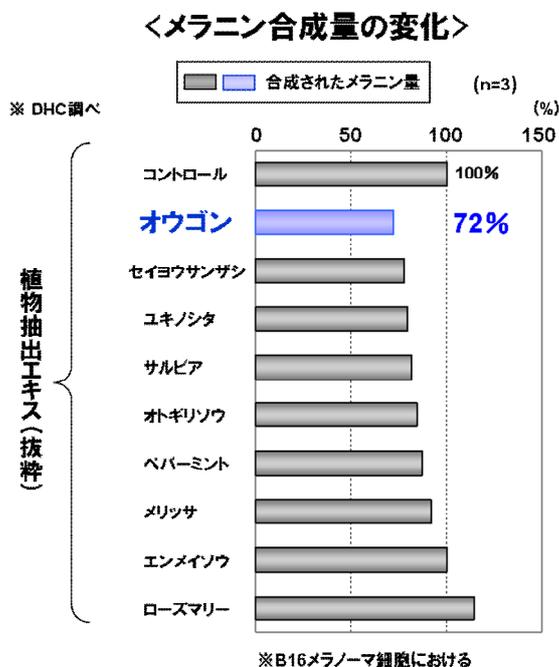


和漢植物エキス『オウゴンエキス』の メラニン産生を抑制する効果を確認

オウゴン(黄芩)とはシソ科のコガネバナ(黄金花 *Scutellaria baicalensis*)の根を乾燥したものをいい、日本薬局方に記載されている生薬の一つです。漢方では胆汁の分泌促進、熱病、炎症、腹痛、下痢の改善などに主に用いられ、化粧品にも使われています。当社の化粧品研究所および第2研究所基礎研究室では和漢植物エキスの持つ美容への有効性を見出すためのアプローチとして、100種類以上の和漢植物エキスについて研究を進めてまいりました。



この度、その研究成果として140種類の和漢植物エキスの中からオウゴン(黄芩)エキスが最もメラニン合成を抑制することを見出しました。現在、オウゴン(黄芩)エキ스가なぜメラニン産生を抑制するのかより詳細なメカニズムの解明を進めています。

ディーエイチシーでは、このオウゴン(黄芩)エキスの有効性を今後の化粧品へ応用する予定です。

口頭発表を行いました。

日本農芸化学会

<http://www.jsbba.or.jp/>

[タイトル] オウゴンエキスの美白効果とその作用機序の解明

Whitening effects of *Scutellaria baicalensis* and its underlying mechanism

[発表者] 工藤倫子、他。